

| | | | | | | | |
|--|--|-------|-------------|-------------------|-------|------------|-------------------|
| 授業科目 コード | GK-8 GK-9 | 授業科目名 | ボランティア活動Ⅰ／Ⅱ | | | 担当教員名 | J.A.T.D. にしやんた |
| 科目区分 | | 配当年次 | 実施学期 | 単位 | 曜日・時間 | 開設学部・学科・専攻 | |
| 基礎力養成科目 学外研修分野 | 選択科目 | 1 | 前・後期 | 2 | 集中 | 人間生活学部 | |
| 授業のテーマ・概要 自主研修としてのボランティア活動 | | | | | | | |
| 授業の目的・到達目標 本科目は、学生の自主的なボランティア活動体験の意義を積極的に評価し、かつそれを奨励するため、一定の条件を満たすボランティア活動の成果を単位として認定するものである。学生が自ら選択し自発的にボランティア活動に参加し、地域での社会活動を体験することを通じて、社会の一員としての自覚と自主性を養うとともに、より主体的に行動できる人材育成を目的とする。 | | | | | | | |
| 授業内容・授業スケジュール ① 地域などのボランティア活動に延べ90時間以上（累積時間制）参加し、受け入れ団体等の活動証明、活動体験を考察したレポートを提出することによって単位を認定される科目である。 ② 活動先は学生が自分で自主的に確保することを原則とする。事前の準備段階に必要な「情報収集→選択→アポイントメント→依頼→活動の実現」という一連のプロセスは、社会参加に必要な交渉能力を身につける上で重要である。 ③ 学期はじめの履修ガイダンス等において、この科目の目的・内容説明を行う。単位認定を希望する学生は、原則として、事前に活動計画の概要を担当教員に届け出ること。 ④ 提出書類（所定の用紙に記入し提出する） ○活動計画書 ○活動日誌 ○活動報告書 ○活動証明書 | | | | | | | |
| 履修上の注意・関連科目等 本科目は、前期・後期のうち自由に履修期間を選択できるが、卒業年次生については、前期のみ履修が認められる。 | | | | | | | |
| 試験と評価 | | | | | | | |
| 項目 | 内容等 | | | | | 評価割合 | |
| レポート | <input checked="" type="checkbox"/> 有り 上記提出書類を総合的に判断し評価する <input type="checkbox"/> 無し | | | | | 40 % | |
| 実習評価 | 上記提出書類を総合的に判断し評価する | | | | | 30 % | |
| その他（出席状況等） | 出席と積極的な授業参加を重視する。 | | | | | 30 % | |
| 教科書・参考書及び辞典等 〔テキスト〕 なし 〔参考書・その他〕 大阪ボランティア協会監修・巡静一・早瀬昇編著『基礎から学ぶボランティア活動の理論と実際』中央法規出版 大勝文仁・山田由佳著『自分スタイルのボランティアを見つける本』山と溪谷社 五月女光弘著『日本の国際ボランティア』丸善ライブラリー 金子郁容著『ボランティア—もうひとつの情報化社会』岩波新書 | | | | | | | |
| オフィス・アワー ※別紙オフィスアワーの一覧を参照してください。 | | | | | | | |
| 研究室の場所・学内電話番号 | | | | 電子メールのアドレス | | | |